

校長だより

平成29年度 校長だより 第1号
発行月日：平成29年4月27日(木)
うるま市立伊波小学校 石嶺 聡

日本の三大校長の一人といわれる東井義雄氏の『いのちの言葉』で次の詞が紹介されている。

☆ どの子も 子どもは星 ☆
どの子も子どもは星
みんなそれぞれがそれぞれの
光をいただいて
まばたきしている
ぼくの光をみてください
まばたきしている
わたしの光もみてください
まばたきしている
光を見てやろう
まばたきに伝えてやろう
光を見てもらえないと
子どもの星は光を消す
まばたきをやめる
まばたきをやめてしまおうと
しはじめている星はないか
光を見てやろう
まばたきに伝えてやろう
そして
天いつぱいに子どもの星を
かがやかせよう



☆ 子どもは ☆
子どもは
学校のために
来ているのではない
子どものために
学校があるのである
川は岸のために
流れているのではない
川のために
岸ができているのである

「子どものために」とは・・・

子どもの「安全と命」を守り
子どもの「可能性」を最大限に伸ばし
子どもに「夢と希望」を抱かせ
そして、実現に必要な「力」(生きる力)をつけてあげること

だと考えてみてはどうでしょうか。

